

＜森林総合科学科＞（認定課程：高一種免農業）

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	情報基礎、スポーツ・レクリエーション、英語などの総合教育科目と森林学実験実習や演習林実習の総合化科目により、基礎的な学力と技術を養う。さらに、学科専門科目により、学科の特徴を捉える。
	後期	前学期に引き続き、基礎的な学力を養う。測量学や森林情報学などにより実験実習で学ぶ技術の基礎知識を習得し、2年次へ備える。
2年次	前期	学科の体系を構成している分野ごとの専門基礎科目を通じて、幅広く森林について捉えると同時に、森林学実験実習や測量実習を通じて実践的な技術を習得することにより、高等学校農業の科目において必要な基礎的知見を学ぶ。
	後期	前学期に引き続き、専門基礎科目を通じて森林に対する理解を深め、実験実習で学んだ技術をどのように生かすのか等を考えながら講義に臨む。
3年次	前期	2年次までに習得した知見をふまえ、応用的な科目により、社会への貢献について学ぶ。さらに、専攻実験・実習を通じて専門的な技術の習得を目指す。高校農業科の教員として、指導方法などを身につける。
	後期	前学期に引き続き、専攻実験・実習や森林土木実習などの実践的な学習により、3年次までに森林に関する基礎から応用までの知見を習得する。4年次の教育実習をふまえ、教員としての心構えを身につける。
4年次	前期	3年次までの学習を基に、教育実習と通じて、実践的な教育現場への適応に必要な能力を培う。さらに、卒業論文を通して、深く考察する力を習得する。
	後期	前学期の教育実習や年間を通じて学ぶ卒業論文により、問題発見やその改善能力を養い教員としての心構えを確認する。